



2007年11月15日 第2008-10号

【発行】J A M

【発行責任者】斉藤 常

【編集】政策政治グループ

03-3451-2425

E-MAIL : seisaku.seiji@jam-union.jp

## 社経生第1回『ワーク・ライフ・バランス大賞』受賞者発表 J A M加盟単組の企業が優秀賞

社会経済生産性本部が事務局となって昨年発足した「次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」は、新しい時代の新しい生き方を目指し、「働き方」と「暮らし方」双方の改革による「調和のとれた生活」の実現を図る運動を進めています。

この運動の一環として、『ワーク・ライフ・バランス大賞』を創設し、その第1回目の受賞者が決定しました。この賞による狙いは、企業・自治体・労働組合など各界でのワーク・ライフ・バランス推進における自発的活動や創意工夫された取り組みの活発化を図ること。組織内活動、貢献活動、標語、エッセイと4つの部門に分けて募集した結果、300近い応募件数の中から、12の取り組みと作品が「優秀賞」に、そして1件が「特別賞」として選ばれました。また、最も優れている取り組みに与えられる「大賞」については、今回は該当するものがなく、授賞は見送りとなっています。

### ㈱サタケ・男性の育児参加促進が評価

このうち、「組織内活動」の部門で、東広島市の株式会社サタケが優秀賞と受賞。サタケ労働組合（組合員約200名）はJ A M山陽加盟の単組です。今回の受賞理由となった取り組みのポイントは、

男性の育児参加（育児休暇制度）を促進

するポスターを製作・掲示し、休暇をとりやすい雰囲気を作り出した。男性の育児休業者は10人に増えた。

時間外労働削減を呼びかけるポスターを製作し、時間外労働が特に多い部署に掲示し、削減意識を高めた。

などとなっています。

なお、表彰式は、本推進会議が提唱している「ワーク・ライフ・バランス週間」（11/18～24）の中心行事として、11月19日に開催される「ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス」の席上にて行われます。

### 【主な受賞者】

#### 1. 「組織内活動」表彰

【優秀賞】株式会社サタケ（広島県）

【優秀賞】株式会社カミテ（秋田県）

【優秀賞】日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社（東京都）

#### 2. 「貢献活動」表彰

【優秀賞】中小企業への取り組みと「プレミアム・パスポート」の創設  
石川県ノ子育てにやさしい企業推進協議会（石川県）

【優秀賞】仕事と生活の調和をテーマにしたS R I ファンドの開発  
株式会社グッドバンカーノ三菱UFJ投信株式会社（東京都）

【優秀賞】県の宣言登録企業の従業員向け優遇商品・サービスの提供

株式会社千葉興業銀行（千葉県）

【特別賞】日本で最初のワークノライフ・コンサルタントとして活躍 パク・ジョアン・スックチャさん（東京都）

（「標語」「エッセイ」については略）